



〒975-0031
 福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
 TEL:(0244)26-1314
 FAX(0244)26-1318
 E-mail:sousou.kyoubu@pref.fukushima.lg.jp

令和5年度 公民館訪問紹介

- 相馬市
- 双葉町
- 富岡町
- 檜葉町
- 新地町
- 葛尾村

○相馬市公民館訪問・社会教育研修会

会場：相馬市東部公民館

13:30～開始

～出席者各自自己紹介～

・県) あいさつ

・市) あいさつ 中央公民館 岸館長

・市) 東部公民館の事業概要説明 (15分程度) 東部公民館 立花館長

14:00～見学 社会教育活動「民謡教室」(10分程度)

→見学後、別室「和室」へ異動

【社会教育研修会】※市進行

14:10～開始 講話) 県社会教育主事 (30分)

研修テーマ【「社会教育」を基盤とした、人づくり・つながりづくり・地域づくり】

14:40～質疑応答・情報交換 (15分)

14:55～県総括

15:00 閉会・解散

東部公民館は、地域の生涯学習の拠点として、教養、生きがい及び健康の増進につながる教室等の活動と各種講座の開設に積極的に取り組んでいます。今後、人口が減った沿岸地域と高台集団移転地域のそれぞれのコミュニティの再生や地域文化の世代間の継承について、どのように進めていけるかについて話し合いました。

※その後、相馬市東部公民館は、功績顕著な団体・施設として県の教育・文化表彰を受賞しました



○双葉町公民館訪問

会場：双葉町役場 中会議室 I

13時30分～

1 開会

2 教育長あいさつ

3 相双教育事務所あいさつ

4 令和4年度事業報告・

令和5年度事業概要説明

5 質疑応答

6 指導助言

7 その他

・閉会



双葉町は社会教育施設が休館・休止中です。この状況での社会教育サービスの在り方はどうすればよいのか？ 住民が戻ってきてからのニーズに答えることのできる新しい複合的な社会教育施設の姿についてどうすればよいのか？ また、整備していく過程で必要だと思われることはどんなことか？ という課題がありました。生活面でのインフラもまだまだ整備されていない地域での社会教育の充実が、いかに困難なのかを話し合いを通して感じることができました。ニュース等で報道されていない行政職員の皆様の地道な活動に敬意を示すとともに、これからも一緒に復興していこうという気持ちを改めて持たせていただいた訪問となりました。

○富岡町公民館訪問

会場：富岡町文化交流センター 第1研修室

- 1 開会 13:30
- 2 概要説明 13:35
 - (1) 人事配置及び分掌配置について
 - (2) 令和4年度事業報告及び令和5年度事業概要について
 - (3) 施設紹介（文化交流センター施設）
- 3 質疑応答 14:20
- 4 協議 14:30 テーマ「生涯学習の充実に向けて」



富岡町の生涯学習の充実に向けてどんなことができそうかということです。地域の課題が明確であれば初期の公民館に求められた民主主義の訓練所、産業振興の原動力や郷土振興の機関としての役割が発揮できるのではないかと考えられます。人口減少社会における地方創生の拠点として、公民館の原点への回帰が期待されます。

予算の問題ですが、他の多くの自治体でも行っている「講師募集してみる」こともできるかもしれません。元々の町民の方々、移住してこられた町民の方々の中には様々な特技や知識を持つ方がいるはずで、その中には「教えてみたい」「企画を立ててみたい」という方も居るかもしれません。その方々を町民とつなぐのも公民館の得意とする仕事です。講座の修了者を講師として招くことも多くの自治体で行われています。

公民館におけるデジタル活用もこれからの時代は大切になります。Instagram等を利用して、富岡町の現在の姿やかつての姿などを発信していけば住民の方々はもちろん、学校で学ぶ子どもたちや他地区出身の先生方にも手軽な資料として喜ばれるはずです。

富岡町には「公民館」「図書館」「博物館」がそろっていて、しかも一か所にまとまっています。近隣市町村にはない富岡町の強みです。予算、立地、職員そしてそれぞれの施設の目的の違いが壁になっているようですが、富岡町の職員の方々はこの課題を乗り越えていけると思います。

- 5 その他 14:55
- 6 閉会 15:00

○檜葉町公民館訪問

会場：檜葉町コミュニティセンター

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 概要説明
 - (1) 令和4年度事業実績について
 - (2) 令和5年度事業計画について
 - (3) 質疑応答
 - (4) 博物館見学（三浦氏による解説付）
- 4 研究協議問題点等についての意見交換 ・相双教育事務所より
 - ◇移動博物館・出前講座などのアウトリーチ活動、博物館ボランティアの養成と活動支援、
 - ◇学校教育における博物館等への積極的な活用
 - ◇提案事項



- ・ポイント制の導入、檜葉巡りのゴールを博物館に、設定（特典付）、何回かくると称号がもらえる。
- ・檜中の模擬会社とのコラボ・・・オリジナルグッズの考案、製作、販売。
- ・どんな博物館にしていきたいかを考慮した上で事業を展開していく。
- ・入館数も大事、博物館事業について何をやったのかが大切。（博物館事業だけでなく社会教育事業全てにいえること）

- 5 閉会

○新地町公民館訪問・社会教育研修会

会場：駒ヶ嶺公民館

13:15	1	開会	14:30	1	開会
13:15	2	あいさつ（訪問者代表、教育長）	14:30	2	あいさつ
13:25	3	出席者紹介	14:35	3	講演
13:30	4	事業概要説明及び協議 （施設見学含む）	15:20	4	質疑応答
14:30	5	閉会	15:30	5	閉会



研修会では、「新しい時代における「人」と「地域」がつながる拠点としての公民館の在り方」、「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進について」の2つのテーマで行いました。

国や県の方針や事例を踏まえてお話させていただきました。出席者の社会教育委員の皆様からも質疑や意見を数多くいただき、大変有意義な研修会となりました。

「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動」に関しては、今後も国等の動向や各自治体の取組などを参考にしながら、町としてどう推進するか検討を進めていただければと思います。

今後も、引き続き魅力ある公民館事業や公民館を拠点とした人や地域とがつながるような事業を計画し、事業展開を図っていただければと思います。今後も、町民にとって魅力ある公民館事業や、公民館を拠点として人と地域がつながるような事業を計画し、事業展開を図っていただきたいと思っています。

○葛尾村公民館訪問・社会教育研修会

会場：葛尾村村民会館 視聴覚室

13:00 開会 進行（教育事務所）

13:10 概要説明

- ① 村の概要、教育方針について
- ② 公民館事業について

今後の公民館事業のあり方について・・・1度きりの来村ではない、葛尾村のファンをつくる

村のアンケートでは残念ながら公民館の利用の項目のポイントが低いようだ。これから社会教育サービスをどのようにしていきたいか（次の仕掛けやビジョン等）

新しい住民の方々が新しいコミュニティを作っていくことは、ハード面だけでは解決しない。帰ってきてよかった、住んでみてよかったと思える村にしていくには社会教育の機能が大切になってくる。楽しいことから人と人のつながり、そして課題の共通認識から解決へ。地域の人々が新たな知識の習得をめざし、学び続け、自ら「生き抜く力」を育むために、地域とともに在り続ける社会教育でありたい。

生涯学習課だけ、学校教育課だけ、学校だけ、公民館だけ、…にならないことが大切。みんなそれぞれ、最大限の努力をしている。しかし成果は上がらない…これからは、形だけではない連携を考えていかなければもったいない。

行政職員、教員と地域の方々をつないでいくことが"村民一人一人の復興"と"村の復興"につながっていくでしょう

13:40 質疑応答

14:00 閉会（閉会后、社会教育研修会）

